

社会福祉法人ファミーユ高知だより

ふくらむ

2025年 秋号 No.49

発行所 高知ハビリテーリングセンター 印刷科

年を重ねて

高知に来て25年が経ちました。高知に来た当初は、空港や道路にある高いヤシの木と青い海を見て南国を感じ、梅雨のシーズンには見たこともないほどの豪雨が降り、年に数回の台風の襲来、真夏の日差しの強烈さ、冬は冬で極寒、そしていつも喧嘩しているのかのような土佐弁など、度肝を抜かれながら生きてきました。長い年月、多くのひとと出会い、支えられ、すっかり高知に馴染んでいるような感覚になっているのですが、私が土佐弁を話すと高知生まれのひとには違和感があるようで…土佐弁だけは馴染みようがないのかもしれない。年を重ね、最近は故郷の岐阜県高山市の風景や父と母、兄弟や友人と過ごした日々を思い出すことが多くなり、あのひとは今頃何をしているのだろう、あの頃は…などセンチメンタルな気持ちになることがあります。年を重ねた今だからこそ思い出すこともあるのだと思います。

今年は戦後80年。私が幼い頃、祖父の遺品を整理した際に従軍したときの写真や服、勲章などがあったことを覚えている程度で直接体験談を聞いたこともなければ、聞く機会を持つとも思いませんでした。ただ、今この年齢になってあらためて脚色されていない戦争の真実とその後の日本の復興について知りたいと思うようになりました。戦争に家族を送り出す、帰りを待っても家族はもう帰ってこない、帰りたいのに帰れない、突然の別れ、心身の深い傷、失われた故郷…考えるだけでも何とも言えない感情が込み上げてきます。戦争を知っている世代が少なくなっている今、私にできることは何か、それは真実を知ることだと思います。今年は家族で地元の山に登る予定でしたが、いろいろな都合も重なり母とともに広島に行くこととしました。まずは直接現地へ行き、見て知ってこようと思います。

本音を言えば年をとらず若いままですーっと過ごしたいですが、年を重ねることで見えてくる様々な景色を堪能するのも捨てたものではなさそうです。



しごと・生活サポートセンター
ウェーブ

センター長 沼 慶子



社会福祉法人 ファミーユ高知



●高知ハビリテーリングセンター
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-2601

◇障害者支援施設

- ・施設入所支援事業
- ・短期入所支援事業（空床型/併設型）
- ・自立訓練事業（機能訓練/生活訓練）
- ・生活介護事業

◇アルパーテ

- ・就労継続支援B型事業
- ・就労移行支援事業（休止中）
- ・就労定着支援事業（休止中）

◇はなのハビリホーム

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷23番地1
・共同生活援助事業



●しごと・生活サポートセンター ウェーブ
〒780-0056 高知県高知市北本町1丁目 8-7
Tel (088) 820-1221 Fax (088) 820-1223
◇就労継続支援A型事業「OWNパス」
◇就労継続支援B型事業「スウェル」

●法人本部

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-5010

第5回 支援の可視化プロジェクト 成果発表会 in 春野文化ホールピアステージ

2025年6月28日（土）ファミーユ高知は、支援の可視化プロジェクト第5回成果発表会を開催しました。春野ピアステージを会場とし、12名と過去最多の来賓者をお迎えしました。

各事業の発表は、福祉の現場の「生の声」が飛び交う人間味あふれる舞台でした。上手くいった事例だけでなく、「こんな壁にぶつかったがこう乗り越えた」という発表などもあり、多くの気づきと共感が寄せられました。

生成AI音声による発表もあり、まるでラジオを聴いているかのような体験でその先進性と効果に驚かされました。また、文字を読むのが難しい方や、視覚的に障害のある方々にとっても音声で情報を得られることは大きな意味をも持ち、「声のバリアフリー」を実現する強力なツールだと感じました。一方で、デジタル化が進む現代だからこそ、発表者の肉声、緊張感、息の合ったコンビでの発表などアナログな要素の持つ温かさや豊かな表現も感じられました。

利用者の特性に応じた支援、利用者により添った支援、数値化できない小さな変化

に気づく支援など職員一人一人が大切にしている支援は違いますが、同じ方向にむかい、利用者を感じる気持ちは変わりないことが感じられました。発表された事例のひとつひとつが私たちの支援を見つめなおす良い機会となりました。準備にかけた時間や努力、福祉への熱い思いがひしひしと伝わってきて、職員皆様に「頑張りました賞」を差し上げたい気持ちでいっぱいです。

就労継続・地域部 中山彩香

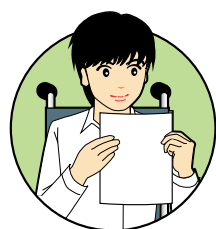


≡ お仕事体験 ≡

障害者雇用の

今と

これから



日本の生産年齢人口が減少する中、多様な人材の活躍が社会を支える上で不可欠となっています。私たち支援者は、障害者の「働きたい」という思いに寄り添い、その方の強みや特性を理解した上で、適切な環境と繋ぐ役割を担います。企業側には業務の整理や環境

配慮が求められますが、それは固定観念を超えた新たな価値創造の機会でもあります。障害者雇用は、もはや単なる「法令遵守」ではなく、「組織戦略」へと変化しています。支援者と企業が対話と協働を重ね、安心して働ける仕組みを共に築くことが、持続可能な共生社会へと繋がる鍵となります。

ファミーユ高知からも多くの利用者が近森病院の障害者雇用として労働しています。お互いの良さを掛け合わせ、地域の医療や福祉を支えていくことを目標に今後も協働していきたいと考えています。

ウェーブ センター長
沼 慶子



七夕イベント食
どっちの料理ショー



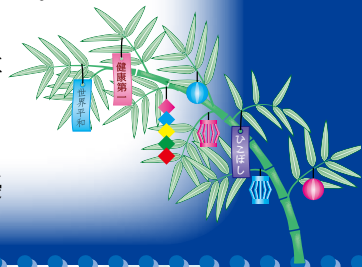
7月4日（金）、毎年恒例の七夕イベント「どっちの料理ショー」が開催されました。今年は「うなぎ丼」と「大人様ランチ」から皆様に選択してもらいました。どちらを選択されるのか、楽しみにしていましたが、結果・・・「うなぎ丼」52食、「大人様ランチ」50食とほぼ同票でした！

「おいしかった」「お腹いっぱいになった」「い

つもプリンがこんなに豪華だったらいいのに」などの声をいただき、大変好評でした。

来年も「どっちの料理ショー」を開催できるよう、皆さんに喜んでいただけるメニューを考えていきたいと思います。

生活・訓練部 中平 優



酷暑を乗り切れ!! 熱中症対策

令和7年6月1日より、労働安全衛生規則が改正され、職場での熱中症対策が義務づけられました。当施設では以前より対策をしていましたが、法改正を機に、い

ま一度見直したうえで強化に取り組んでいます。2事業の取り組みをご紹介します。

日本の夏は年々暑くなる傾向に見られます。熱中症は直射日光のような環境下だけでなく屋内でも発症します。利用者さんの入浴介助の現場は高温多湿!! 熱中症を発症しないように取り組むことが必然です。当施設では①ネッククーラー：体の外部から耐熱の上昇を抑えます。②アイススラ

リーを飲む：体の内部から耐熱の上昇を抑えます。③水分補給：汗で多量に奪われた水分をしっかり補給します。これらを徹底し、支援中には利用者さんだけでなく、支援員の体調も確認しながら取り組んでいます。

生活・訓練部 大上美幸



夏のイベント

行列のできるクレープ屋さん

7月下旬の昼下がり、B型イベント『行列のできるクレープ屋さん』開店です。

今回のイベント告知チラシは、印刷科利用者・山崎さんの力作。おかげで、当日まで皆のワクワク感がマシマシ。市内で人気・四つ葉カフェさんのかわいいキッチンカーが来ると、いつもは殺風景なレンガ通路も、あら不思議! おしゃれな小路に大変身! 笑顔がずらりと並ぶ長〜い行列ができました。

目の前でくるくると具材が包まれる様子がワクワクが更に倍増! 「どうぞ」と手渡されたクレープを、満面の笑みでガブッ! 「アツアツが食べられて嬉しい」「近所のクレープ屋より美味しい」「次はコレ食べるよ」と、早くも次回の要望が。皆で楽しく美味しいひとときを過ごしました。 就労継続・地域部 野本生子



夏場の作業では、利用者の健康を守るために熱中症対策が欠かせません。こまめな水分・塩分補給、冷却グッズの活用などを行っています。本年度から競馬場清掃など外部作業やクリーニング科で『アイスベスト』を新たに採用しています。背中に2つ、両脇に1つずつ合計4つの専用保冷剤をセットするベストです。利用者さんにもとても好評です。その他、競馬場清掃では炎天下の駐車場のゴミ拾いルートの一部変更し、無理のない作業環境づくりに努めています。

就労継続・地域部 恒石美佐子



アイスベストを着用しているクリーニング科メンバー

中越副センター長 ありがとう



このたび、ファミリー高知を退職される中越副センター長に、心からの感謝と敬意を込めて、これまでのご功績を振り返ります。中

越さんは、作業療法士として医療現場での経験を積まれた後、「もっと地域で自分を必要としている障害者にかかわりたい」という強い思いを胸に、福祉の現場へと飛び込んでくださいました。その行動力と情熱は、私たち職員にとっても大きな刺激となりました。障害者支援にとどまらず、地域の農家さんとの連携や伝統野菜の継承など、地域

全体を巻き込んだネットワークづくりに尽力され、地域に根ざした支援の形を築いてこられました。また、しごと・生活サポートセンターの新築にあたっては、全国の先駆的な事業所の情報を収集し、高知駅前に立派な建物を建てることができたのは、中越さんの尽力の賜物です。副センター長としては、職員の働き方に対して様々な取り組みを企画・発信し、職員の笑顔につながる活動を実践されました。その姿勢は、組織全体に温かい風を吹き込んでくれました。

退職されることは寂しい限りですが、またどこかでつながることを期待し、感謝と笑顔でお送りしたいと思います。中越さん、本当にありがとうございました。

高知ハビリテーリングセンター 西岡由江



よさこい



8月11日（月）、近森病院のよさこいチームが来てくれました。

演舞が終わると「アンコール」の声が！ 高知の夏をたっぷりと楽しみました。



飛翔 (アビリンピック 2025)

2025年7月5日、アビリンピックのワード・プロセッサーAの部門で銅賞を受賞しました。大会には、現在の実力を試すとともに新しいことに挑戦したいという思いで出場。過去問や類似問題の練習、タイピング練習に取り組みました。当日は緊張で手が震える場面もありましたが、落ち着いて競技に臨むことができ、終了後は達成感と安堵の気持ちでいっぱいでした。

生活訓練 利用者

高橋のどか



今回の受賞は毎日の練習や準備を積み重ねてきた成果だと思います。以前までは出場にさえ躊躇し、今回初の挑戦でしたが、この経験は就労の場面でもきっと生かされることでしょう。これからの高橋さんの飛翔を楽しみにしています。

生活・訓練部 井上颯星



足元 から、
笑顔と幸せを。

ハビリに「あゆみシューズ」

徳武産業株式会社が来訪されました！

障害者支援施設ハビリでは、利用者の皆さんが日々の生活をより快適に過ごせるよう、症状や用途に合わせた下肢装具や専用の靴を必要とされる方が多くいらっしゃいます。そんな中、今回徳武産業株式会社による「あゆみシューズ」の展示販売会が開催されました。

当日は、足元に悩みを抱える多くの利用者が相談に訪れ、靴選びを楽しむ姿が見られました。おしゃれで機能的な靴が並ぶ中から、自分にぴったりの一足を見つけたときの笑顔は、いつも以上に輝いていました。

実際に購入された方からは、こんな嬉しい声が届いています：

- ・「素敵な靴が買えました！！」(脳性麻痺・車椅子利用者)
- ・「靴が選べて、テンションが上がりました！！」
(片麻痺・失語症の利用者)
- ・「軽くて、歩きやすいです！！」(片麻痺の利用者)

「また来てほしい！」という声も多く、今回のイベントが大きな喜びと満足につながったことを実感しています。

これからも、利用者の皆さんと一緒に「一歩、一歩、歩く楽しみ」を見つけていきたいと思います。

生活・訓練部 田村亨介



利用者さんの夢がふくらむ ハビリ・ウェーブ



私は今月誕生日で71歳になりました。ウェーブではもうだいたい長いこと働いています。ウェーブがクリーニングを始めた時からずっとクリーニングの作業をやっていて、アイロン掛けしたり洗濯物をたたんだり納品回収にも行っています。毎朝5時に起きて夜9時に寝るまであっという間の1日やけど、ウェーブで仕事を頑張ってるグループホームでゆっくりくつろいで時代劇見てまた寝たら次の日には元気になっていきます。物作りが好きでさをり織りも得意です。長いこと働いて自分でも偉いと思うけど最近はいよいよ力が落ちてきました。でもまだまだ頑張ります。

就労継続支援B型 利用者 吉本好晴



初めまして、私は、中澤清といいます。私は、引越しをすることが多く、なかなか同じ場所に落ちつくことができませんでした。しかし、はるのハビリホームへ来てからは、部屋も綺麗で、広くて、十分にあるせいか平日、土、日の休みもリラックスしてくつろげます。

軽作業2ではナス、トマトの取り扱いがあります。ナスは、紫色が濃く、元気で、トマトは、まだ青いような赤いトマトで若さがあります。

毎日、安定した作業内容が欲しくて体調を整えたり食事に気を使ったりして七曜を過ごしています。

また、作業後は、テレビを観たり休息を入れたりして呼吸を整えています。

約10年間、働けるという楽しさで勤めて参りたいと思います。

就労継続支援B型 利用者 中澤 清

盛沢山 イベント

8月24日(日)、午前はKTK(健康を楽しく考える会)、昼食はマクドナルドを注文、午後からはボッチャ大会にクレープ作り、とにかく“動いて食べて動いて食べて”のイベントを開催しました。頭も体も忙しい一日でしたが参加した利用者には好評だったようです。

センター長 沼 慶子



B型クリーニングでは昨年度から業務の改革を行い、これまでのやり方を変え、少しでも品質アップにつなげられるよう取り組んでいます。

改革当初は当然ながら業務の回らない日もあったり、理想と現実のギャップに差を感じたりしましたが、現在になって何とかやっと形になってきているように思います。まだまだ改善すべきところも多くあります。改革に伴って業務を変更することにはなりましたが、それについて来て下さった利用者には感謝でいっぱいです。これからもより良いクリーニングを目指してまいります。

スウェル クリーニング 山崎里菜

危険な 熱中症

～予防と対策について～

7月14日、高知市の「あなたに届け隊 出前講座」で講師2名に来ていただき利用者対象で熱中症についての研修を行いました。みなさんは、真剣なまなざしで耳を傾けていました。夜寝るときは、冷房をタイマーにせず設定温度を上げて朝までつけたままが好ましいことや、救急車を呼ぶべきか迷ったときは#7119に電話すると相談できる、などなどたくさんのことを学ぶことができたのではないのでしょうか。研修の最後には、質問や感想でたくさん手が上がっていました。安全衛生委員会では健康な生活が送れるような研修の開催を今後も考えています。

安全衛生委員会 細川孝行



レ・ミゼイ

関 西万博に行ってきました!

私は先日、関西万博に行ってきました。関西万博は、日本の未来をテーマにした国際博覧会で、世界中の最新技術や文化が集まる素晴らしいイベントでした。

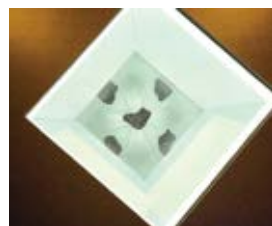
会場に着いた瞬間、そこで感じた熱気と期待感は何とも言えませんでした。ブースの装飾や展示物が色とりどりで、訪れた人々の笑顔があふれていました。多くの国からの出展があり、各国の特徴を活かした展示が楽しめました。

私が特に印象に残ったのは、1970年の大阪万博での展示された月の石です。月の表面から発見された貴重なサンプルです。地球上では決して見られない、宇宙の壮大な物語を秘めたこの石に魅力を感じました。

そして、忘れてはいけないのが食文化です!各国の名物料理が各ブースで提供されていてグローバルな料理を楽しめて、まさに食の祭典でした。

関西万博は、ただの展示会以上の価値がありました。興味深い知識や未来の可能性を学ぶことができ、また国際交流の素晴らしさも感じることができました。

オウンパス 川村健太



2025

内ノ谷 夏祭り

今年も夏の恒例行事である内ノ谷夏祭りに参加し、「全集中！すくい隊」と題しておもちゃ&お菓子すくいを行いました。前日までの準備では何度かハーサルを行い、どうしたらゲームとして楽し



めるか試行錯誤してきました。その甲斐あってか、当日は地域のお子さんたちがこぞって遊んでくれ、中には何度も遊びに来てくれるお子さんもありました。地域の方たちの祭りを楽しむ表情や様々な屋台が並ぶ情景は夏の風物詩としてとても風情あるものでした。

まだまだ気温が高く日差しが強い夏は続きますが、これからも地域一体となって祭りを楽しみ、

盛り上げていきたいと思える機会となりました。

生活・訓練部
青木菜緒
廣田李々佳



ノー残業デー

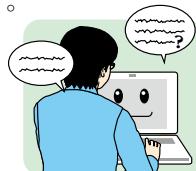
の取り組みについて

当法人では、部署により残業取得率に差がある状況が課題となっています。2025年3月より勤怠システムを導入し、職員の働き方の見える化を進める中で、現在は毎月15日(勤怠締め日)をノー残業デーと定めています。

職員一人ひとりが時間管理を意識し、業務改善やAI等の活用による効率化を図ることが重要です。こうした取り組みは、職員のワークライフバランスの確立につながり、結果としてご利用者のよりよい支援の実現にも寄与します。今後も全体で取り組みを強化してまいります。

※この文章はAIツール『ChatGPT(通称チャピー)』を活用して作成しました

生活・訓練部 島崎義広



生成AIの活用について

近森病院で開催されたChatGPT入門研修に参加しました。

福祉施設では本来業務である直接支援やその記録のほか、様々な委員会の記録や計画書、報告書等の書類作成が求められます。この本来業務以外の文書作成にかかる時間が意外に長く、時間外業務の削減や本来業務に適切な人員を置くためにも、早急にこの問題を解決したいと考えていました。研修を受け生成AIが使えるとこれらの問題の解決が図れるのではないかと感じました。ただ使いこなすスキルと仕上がったものを見直し仕上げる技量はやはり人間に求められます。便利なシステムが出来ても全てを任せられるものではなく、やはり指示を出す、判断する事が必要でシステムを使う『人』が重要である、と感じました。

就労継続・地域部 川渕佐織

QH世話人

趣味について

趣味、少し違うかもしれませんが、楽しみでしょうか。公民館活動のなかで週1回民踊を習っています。

仲間の人達は、70才80才越えの人達です。でも民踊が本当に上手いです。良いところをぬすみ見しながら、私も一生懸命覚えています。本当に皆さん頑張られています。いろんな面で教わることがいっぱいです。

1年に一度、12月に公民館で活動している人達の発表会があります。楽しみでもあり、苦しみの一つでもあります。皆さんいきいきして楽しくやられています。見習わなければと思い見させてもらっています。12月のピアステージでの発表に向けて、仲間みんなと頑張っておりくんでいます。

就労継続・地域部 伊藤啓子



★新商品発売!★

～利用者のアイデアが形になりました～



アルベータ印刷科では、高知市在住のイラストレーター 柴田ケイコさんデザインのキャラクター【NAKAYOSHI MOLIMO】の新商品、「すきまポケットメモ」と「ひとこと便箋」を発売しました。今回の商品は、印刷科

利用者の山崎睦美さんがデザイン案からデータ制作まで手がけ、そのアイデアが商品化されたものです。日々の作業から生まれた“こんなのがあったらいいな”という思いが、形となって多くの方の手に届くことになりました。



happy インスタグラム

商品はTSUTAYA 中万々店・蔦屋書店・こうち旅広場で販売中です。また、高知県内の就労支援事業所の商品やサービスを紹介するサイト「Happy」のInstagramでも【NAKAYOSHI MOLIMO】の商品が掲載されています。

アルベータ印刷科では、今後も「利用者の独自の感性や発想を生かした商品開発」に継続して取り組む予定です。

就労継続・地域部 岡村敬世

決算書につきましてはホームページよりご覧いただけます。



土居さんと作ったベンチ



生活訓練では木工活動を利用した訓練も行っています。興味関心の高い活動ならいつも以上に高いポテンシャルを発揮する場合があります。土居さんもその一人で、元々大工仕事をされていたとあって丁寧かつ職人ならではの技法も用いながら丈夫で素晴らしいベンチを作ってくれました！こういった活動を通してその方の強みや課題などが共有されることを期待しています。ちょっと一息、どなたでも気軽に座っていただけたらと思います。

生活・訓練部 橋本竜太



季節の花



初夏はグリーン、秋が深まると黒く熟してブドウのような実になるヤマゴボウ。見た目はブドウに近いですが、葉や根がゴボウに似ていることが名前の由来です。実のグリーンと茎の紅色のコントラストの可愛さや軽やかな動きが魅力で花材に使われますが、散歩などしていると空き地などで見かけることがあるかもしれません。毒性があるので味見はしないでくださいね。

スイバ、ヤマゴボウ、アルストロメリア、トルコキキョウ、クルクマシャローム、ケイトウ、マウンテンミント、ユーカリ

生け花担当職員 小松 香

利用状況

ハビリテーリングセンター

○2025年8月の見学件数
..... 18件

○8月の1日あたりの平均利用者数
(小数点第二位以下は四捨五入)

自立訓練

・機能訓練(定員20名)・・・19.3名
・生活訓練(定員6名)・・・5.1名

生活介護(定員14名)
..... 10名

施設入所支援(定員40名)
..... 34.8名

アルベータ

・就労継続支援B型(定員40名)
..... 39.6名

はるのハビリホーム(定員36名)
・グループホーム..... 29.5名

ウェーブ

○2025年8月の見学件数
オウンパス..... 1件
スウェル..... 2件

○8月の1日あたりの平均利用者数
(小数点第二位以下は四捨五入)

オウンパス(定員10名).....6.5名
スウェル(定員40名)・・・35.4名

編集後記

『澄む空に 雲ひとすじの 秋来たる』“秋の美しさ”をテーマに、AIに一句詠んでもらいました。いかがでしょうか？ AI技術は日進月歩で進化しています。ChatGPTの有料プランでは、自分だけのモデルになるよう学習させる事もできるとのこと。懸念点もありますが、便利なツール、また、よき友人として付き合っていきたいと思います。

M.T